

高性能住宅をお考えなら

押出法ポリスチレンフォームで
No.1の断熱性能

熱伝導率 **0.022W/m・K以下**

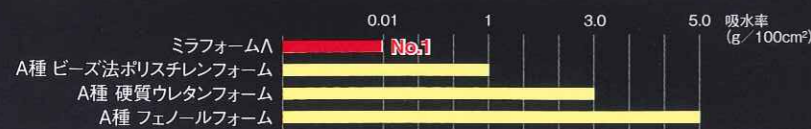
ミラフォームラムダは押出法ポリスチレンフォームの限界を超えた断熱性能(熱伝導率0.022W/m・K)を実現しました。



発泡プラスチック断熱材で
No.1の防水性能

吸収量 **0.01g/100m²以下**

ミラフォームラムダは、吸水量0.01g/100m²以下とウレタンフォームやフェノールフォームと比較して吸水量が小さいので、吸水による断熱性能の低下は心配ありません。



ミラフォームΛをお選びください。

押さえるべき特長は
もちろん網羅。

- 特長1** 地球環境にやさしいノンフロン製品
- 特長2** リサイクル対応製品(マテリアルリサイクル)
- 特長3** シックハウス対策(F☆☆☆☆)
- 特長4** グリーン購入法特定調達品目(断熱材)適合品

基本物性

項目	単位	ミラフォームΛ	測定法
密度	kg/m ³	25以上	JISA 9511 準拠
熱伝導率	W/m・k	0.022以下	
圧縮強さ	N/cm ²	10以上	
曲げ強さ	N/cm ²	25以上	
吸水量	g/100cm ²	0.01以下	
透湿係数 ^{※1}	ng/m ² ・s・Pa	145以下	ASTMD696
燃焼性		測定法A合格	
線膨張係数	K ⁻¹ (cm/cm°C)	6~8×10 ⁻⁵	
ホルム放散速度	μg/m ² h	F☆☆☆☆等級	
SM放散速度	μg/m ² h	32以下	

注)上記データは測定値であり、保証値ではありません。 ※1 25mm厚50%RH



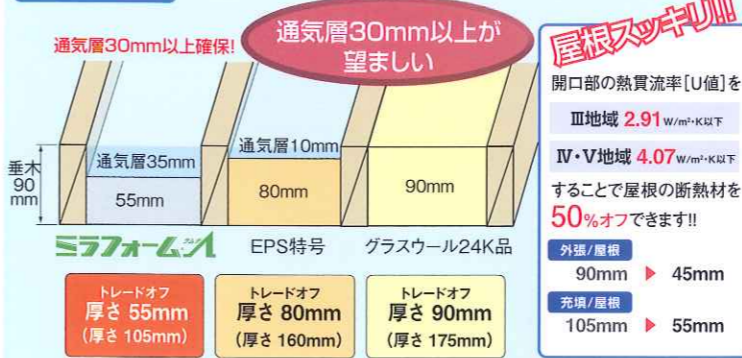
規格

厚さ (mm)	25・30・40・50・55
幅 (mm)	910
長さ (mm)	1820
表面状態・色	カットボード・シルバー

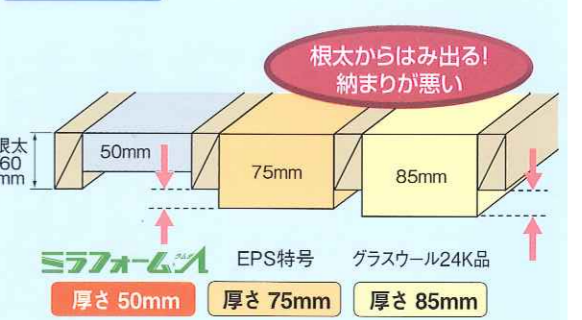
ムダなくスッキリ派の
あなたは、
これで決まり!!!

床伏せ図面に合せて
必要な『断熱材を』プレカットして現場にお届けする
『大引間割付断熱工法』も、是非ご利用ください。

屋根では
Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ地区



床では
Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ地区



次世代省エネルギー基準(品確法 4等級)必要断熱厚さ(mm) 5mm単位

木造の住宅/充填断熱工法

部 位		Ⅰ 地域					Ⅱ 地域					Ⅲ~Ⅴ 地域				
		基準 熱抵抗値	断熱材の種類・厚さ(mm)				基準 熱抵抗値	断熱材の種類・厚さ(mm)				基準 熱抵抗値	断熱材の種類・厚さ(mm)			
			ミラフォーム ラムダ	A種硬質 ウレタン 保温板 2種2号	XPS 3種b	グラス ウール 24K品		ミラフォーム ラムダ	A種硬質 ウレタン 保温板 2種2号	XPS 3種b	グラス ウール 24K品		ミラフォーム ラムダ	A種硬質 ウレタン 保温板 2種2号	XPS 3種b	グラス ウール 24K品
屋根または 天井	屋根基準値	6.6	150	160	185	255	4.6	105	115	130	175	4.6	105	115	130	175
	トレードオフ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.3	55	60	65	90
	天井基準値	5.7	130	140	160	220	4.0	90	100	115	155	4.0	90	100	115	155
	トレードオフ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.0	45	50	60	80
壁	基準	3.3	75	80	95	130	2.2	50	55	65	85	2.2	50	55	65	85
	トレードオフ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
床	外気に接する床	5.2	115	125	150	200	5.2	115	125	150	200	3.3	75	80	95	130
	その他の床	3.3	75	80	95	130	3.3	75	80	95	130	2.2	50	55	65	85
土間床等 の外周部	外気に接する部分	3.5	80	85	100	140	3.5	80	85	100	135	1.7	40	45	50	65
	その他の部分	1.2	30	30	35	50	1.2	30	30	35	50	0.5	15	15	15	20

注)上記必要厚さは、ミラフォームラムダの製品規格厚さと対応しない場合があります。

《取り扱い注意事項》

- 火気厳禁(溶接厳重注意)**
火気に接触すると燃えます。ミラフォームラムダは燃えると黒煙が発生します。従って、輸送、保管、施工等に際しては火気に十分注意すると共に、適切に養生してください。特に溶接・溶断を行う際は、溶接火花が当たらないように必ず養生してください。
- 紫外線注意**
直射日光に長時間曝すと徐々に表面から変色劣化し、接着不良、厚さの減少等の原因になりますので、保管に当たっては養生シートで覆い、施工後は速やかに仕上げを行ってください。
- 有機溶剤注意**
アルコール系以外の有機溶剤、石油類には侵されますので、接着剤、塗料等の選択及び木造住宅での防蟻・防蟻薬剤の選定及び使用方法については事前にそれらのメーカーにお問い合わせください。
- 高温注意**
使用温度は80℃以下です。80℃を超えると徐々に変形し始めますので、高温での使用は避けてください。
- 割れ・踏み抜き注意**
局部圧縮や衝撃には弱く割れやすい材料です。下地のない箇所には乗らないでください。
- 強風注意**
軽量で取扱が容易な反面、風にあおられやすいので強風下での作業は注意してください。また、保管に当たっては飛散防止処置をしてください。
- その他の注意**
 - フォームの屑が目に入った場合は、こすらず流水で洗浄してください。
 - 熱線スライズ等、煙の発生する作業を行う場合は、換気を十分行なってください。
 - 燃やすと黒煙(スス)がでますのでご注意ください。(廃棄の際は条列に従って処理してください。)
 - 鳥・鼠・昆虫等によって損傷を受けることがありますが、栄養源や餌にはなりません。

以上の注意事項に関しては、一般的な取り扱いを対象としたものです。それ以外の使用に関してはお問い合わせください。

株式会社 JSP

第一事業本部 建築土木資材事業部 ホームページ <http://www.jsp.com>

住宅資材部 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-2(新日石ビル) TEL 03-6212-6363 FAX 03-6212-6369
 札幌営業所 〒060-0003 札幌市中央区北3条西1-1(サンメモリアビル) TEL 011-231-2681(代) FAX 011-231-7850
 仙台営業所 〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-4-1(仙台興和ビル) TEL 022-262-3271(代) FAX 022-266-9583
 名古屋営業所 〒460-0003 名古屋市中区錦3-4-6(桜通大津第一生命ビル) TEL 052-962-3225(代) FAX 052-962-3252
 大阪営業所 〒541-0053 大阪市中央区本町1-6-16(野村不動産堺筋本町ビル) TEL 06-6264-7903(代) FAX 06-6264-7913
 広島出張所 〒731-0052 広島市東区光町1-12-20(もみじ広島光町ビル) TEL 082-568-0566(代) FAX 082-568-0577
 福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-12-17(五幸ビル) TEL 092-411-6854(代) FAX 092-474-1796
 工場 北海道工場、鹿沼工場、関西工場、九州工場